

2025 第 1, 2, 3 RUTC 永遠の答えの始まり (39) (社)世界福音化伝道協会 www. weea. kr		
2025 年 10 月 5 日 週間祈りカード		
△区域メッセージ第 40 週/5 部「だまされない絶対やぐら 300%の味わい」 金土日時代(使 17:1, 18:4, 19:8)	△聖日 1 部 のろいとわざわいを止める福音(使 8:4-8)	△聖日 2 部/神殿建築献身礼拝 多民族人材が留まる神殿(使 8:26-40)
□序論 1. 金曜癒やし祝祭(根本癒やし 300%) 金曜日には癒やし祝祭の時間を持てば良い。癒やし祝祭ということは、根本癒やし 300%を言うのだ。皆さんが根源的な力を得て、根源的な癒やしをするのだ。 2. 土曜サミット祝祭(タラント 300%) 土曜日にはレムナントが自分のタラントを 300%作る力を得るのだ。300%とはどんなことなのか。レムナントが自分の学業に対するタラント 100%、それからに現場を見ること 100%、未来を見ることが 100%であるべき。 3. 主日みことば祝祭 主日にはみことば祝祭が起きなければならない。 1) 答え 主日に必ずみことばで答えを受けることになる。 2) 刻印 その答えを持って祈らなければならない。答えが刻印になるべきなのだ。 3) 確定 主日に確定されなければならない。神様の計画が確定されなければならない。そうすれば、多くの答えを見るようになる。 □本論_ RT 1. 金曜日 1) ミッション 確実なミッションを悟らなければならない。レムナントが序論の祈りをするようになればミッションが見える。 2) お使い ダビデにお使いをさせたがこれが時代を変えた。レムナントにどんなお使いをさせるかということが教育方法だ。 3) 発表 自分たちが発表できる時間も持ったほうが良い。 2. 土曜日-フォーラムが起こらなければならない。 1) 読書フォーラムだ。みことばで答えを出さなければならない。 2) 偉人 偉人に関するフォーラムをしなければならない。私たちはキリストで答えを出さなければならない。 3) 三つの祭り(いつも)は、いつも味わうことだ。みことば刻印されれば働きが起こる。それゆえ、礼拝が答えだ。 4) 礼拝-祈りがすべてだ。ここで答えが出なければならない。そのときから三つのことが来る。 5) ただ 6) 唯一性 7) 再創造 3. 主日 1) 最高 今日の主日は最高の日だ。これをレムナントに教えなければならない、見なければならない。 2) 祈り 一日中祈る日だ。主日に確実な契約を握って祈ることができなければならない。 3) 刻印されるように祈れば良い。 □結論 私がいる現場の流れが見えるのだ。一つの国の流れが見える。レムナント 7 人がこの流れを見た。レムナントは少しだけ祈れば見える。大人たちが見ることができなかったことを見るようになって、現場でもその国に行って指導者が見ることができなかったことを見た。これが祈りで、礼拝だ。	□序論 1. 確信すること-皆さんが行く所にのろいとわざわいがイエス・キリストの御名で崩れて縛られる。 1) ヘブ 11 章 暗闇、のろい、わざわいに勝った人々の特徴-信仰は、望んでいることを保証し、目に見えないものを確信→信仰と不信仰は根をおろす。 2) 福音を正しく知る信仰 (1) のろいとわざわいなくす御名であるイエス・キリストを信じなさい (2) 起きよ、輝け。主の栄光があなたの上に臨みだから 3) この事実を信じなければ-未信者のような水準、伝道できなくて未信者とサタンの使い、のろいとわざわいを止める道がない。 2. のろい、わざわいが来る理由 1) 12 の問題 (1) エデンの園(神様を離れて私が神様になること)、ネフィリム(偶像崇拜-力)、バベルの塔事件(神様がいない成功) (2) あがき-偶像崇拜、占い (3) サタンの子ども(霊的問題)、背景が地獄とサタン、次世代にさらに大きな問題 2) ただ福音を分らない教会はのろい、わざわいに勝つことはできない (1) 使 11:1-18 福音よりユダヤ人の伝統強調 (2) ガラ 2:10-20 福音よりユダヤ人の法を強調 (3) マタ 12:26-30 あなたの家族にサタンが家を作っている。 3. 本文背景 1) サマリアにのろいとわざわいが臨んだ理由 (1) ソロモン時代に偶像が敷かれて分裂した国 (2) アッシリアに捕虜、異邦人と結婚 (3) 福音を悟れないからサマリアをのろいの地だと見たユダヤ 2) イエス様が十字架で処刑されてイエスを信じる人は法的に断絶されたとき 3) サマリアにピリポひとり暗闇、わざわい、のろいを崩した。信じなさい。 △福音だけがのろいを解決することができる。光だけが暗闇に勝つことができる。 □本論_ のろいとわざわいをどのように止めたのか 1. 困難がきたとき、神様の大きな祝福を見つけて出さない。 1) ステパノの死と大きな迫害によって散らされた信徒(1-3 節) 2) ピリポが発見した祝福-サマリアに行って福音を伝えた(4-5 節) 3) 福音は生かすこと 2. 一心、全心、持続-世界を変化させる奇跡 1) 散らされた者が福音を伝えた、サマリアでキリストを証し(4-5 節) 2) そろって (一心に) ピリポが伝えるみことばを聴従(6 節) 3) 現場を変化させる奇跡(7 節) 3. その町に大きな喜びがあった(8 節) 1) Nobody→Everybody 2) Nothing→Everything 3) No way→Everywhere □結論_ 祈るときに起こること(祈りはすべて、ほかのことではできない。ただ!) 1. 脳に刻印 2. たましいの中に刻印 3. 御座に伝達(黙 8:3-5)	礼拝するとき、祈るとき、どんなことが起こるのかが分かれば、祈りを簡単にできる。ここに確信がくれば力も得ることができる。初めから言われたみことばである多民族、この中に福音を伝えることができる人材が留まる神殿が準備されなければならない。 □序論_過去の失敗-今日のやぐらに変わる。神様のやぐらが建てば祈ることができる。 1. 奪われたこと-多民族という単語を分かるなら、次世代が行ってすべて見つけ出す。 1) 奴隷 2) 戦争 3) 捕虜 4) 属国 5) 流浪の民から回復する。 2. 偶像に負けた過去-メイソン戦争に勝利(神殿建築の祝福) 1) 幕屋 2) 神殿に答えを出したダビデ 3) 教会 3. 過去のすべての失敗が今日のキャンプに 1) サタン 12 戦略(1 キャンプ) -完全に聖霊の導きを受けることによって崩した。 2) 偶像、シャーマニズム、ネフィリムが作り出した 3 団体(2 キャンプで解決) 3) 彼らが作り出した文化(3 キャンプ持って解決) □本論_今日の旅程が成り立つ 皆さんが契約を持って旅程を進むとき、神様が皆さんに主の使い、御霊、主の霊を送って導かれる。 1. 主の使いが 26 節(御使い) 1) 道を導き(26) 2) いつも人を準備(27) 礼拝しに来たエチオピア女王の権威ある宦官 3) みことばを読んでいた宦官(28) -これを分かるように主の使いがピリポに 2. 御霊が 助け主として働く 1) 馬車に行きなさい(29) 2) 走って行って尋ねた(30)、導いてくれる者(31) -聖霊が私たちの歩みを導き 聖書からキリストを説明 3) バプテスマ(36) 3. 主の霊が ともに(39) 1) 私たちが会う人は最初の機会 2) 最後の機会 3) 永遠の機会になるように献身しなければならない。 △多民族がキリストで答えを出すようにしなければならない。 □結論_契約を握るこの時間に、今日の道しるべが作られるが、これは未来のためだ。 1. 三位一体の神様が皆さんとともに、天の軍勢を送って、皆さんを助けて仕えるようにされ、暗闇が縛られる。 2. Ⅲヨハ 1:2 答えを受ける順序-霊的世界が先に作られれば(あなたのたましいが幸いを得ているように)すべてのこと、健康に現れるようになっていく。 3. 器を準備だけすれば入れられる。 △今ここで祈るように見えるが、皆さんのすべての過去の過去は神様のやぐらに変わる。未来を生かす御座の道しるべに変わる。レムナントがどこにいるかにより歴史が変わる。礼拝して祈りを味わう時間に力を受けることはすべてのことになる。伝道は神様が行われる働きの中に私がいることだ。 過越祭、その日(五旬節)、仮庵祭